

1. 基本情報		
施策コード	221	施策名 健幸づくりの支援
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)
まちづくりの基本目標	22	健幸で笑顔あふれるまち
主担当部	健康福祉部	主担当課 健康推進課
担当者	八巻 浩孝	役職 健康福祉部長
関係課	生涯学習スポーツ課 地域包括ケア推進課	保険年金課
		係 健康推進係、保健サービス係
		内線 160

2. 施策の方向	
10年後の姿	市民一人一人が「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識を持っています。また、自ら進んで健康づくりに関心を持って実践し、生きがいをもって、自分らしくいきいきと健やかに暮らしています。
施策の方向性	1 市民の主体的な健幸づくりを支援します
	2 病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげ、重症化を予防します
	3 0
	4 0
	5 0

3. 構成事業の状況			(単位:千円)				
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算
0110050401	立科山荘運営管理事業		1	生涯学習スポーツ課	52,504	35,755	32,879
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		1	生涯学習スポーツ課	1,587	1,577	1,731
0110060105	学校体育施設等開放事業		1	生涯学習スポーツ課	136	40	156
0110060201	体育施設管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	51,654	280,311	120,797
0103010134	地域福祉計画策定事業		すべて	地域包括ケア推進課	-	-	1,950
0104010104	保健衛生一般事務事業		すべて	健康推進課	1,969	5,248	3,347
0104010108	健康増進計画策定事業		2	健康推進課	-	-	2,132
0104010204	健康増進事業	対象	1	健康推進課	4,932	2,524	2,747
0104010205	市民健康診査事業	対象	2	健康推進課	23,684	23,691	24,675
0104010211	地域健康づくり推進事業		すべて	健康推進課	145	159	213
0104010214	健康増進室運営管理事業		1	健康推進課	2,508	3,152	3,350
0104010229	肝炎ウイルス検診事業		すべて	健康推進課	862	414	608
0104010239	成人歯科口腔保健推進事業		すべて	健康推進課	3,323	2,010	2,040
0104010240	がん検診推進事業	対象	2	健康推進課	17,612	12,540	5,263
0104010241	がん検診事業	対象	2	健康推進課	22,244	24,885	31,423
0104010243	成人歯科健診事業	対象	2	健康推進課	-	2,006	4,570
0104010244	健幸ポイント事業	対象	1	健康推進課	-	-	16,000
0104010301	結核健診事業		すべて	健康推進課	16,763	16,930	16,904
0104010302	定期予防接種事業		2	健康推進課	145,207	142,231	151,982
0104010304	感染症対策事業		すべて	健康推進課	187	99	257
0104010213	市民健康まつり事業		すべて	健康推進課	63	62	-
0208010102	特定健康診査・健康チャレンジ事業	対象	1	保険年金課	102,527	99,933	108,659
0208020201	保養施設利用推進事業		すべて	保険年金課	378	423	475
0208020301	健康診断事業		すべて	保険年金課	4,412	4,772	5,320
総事業費(施策の合計)					452,697	658,762	537,478

4. まちづくり指標

指標情報				平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	名称	日常生活のなかで健康に気をつけている人の割合		目標値	—	53.9 (平成29年度)
	説明	単位	%	実績値	—	指標無し
	抽出方法	世論調査(平成26、29、32、35年度に実施)		達成率	—	—
②	名称	特定健康診査受診率		目標値	—	58.5
	説明	単位	%	実績値	53.1	53.7
	抽出方法			達成率	—	—

5. 評価

評価基準	評価	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業の 状況」「4. まちづ くり指標」)に対す る評価	総合評価 B	<p>構成事業の状況については、市民の健康づくりのために、健康診査やがん検診、各種健康教室、健康相談、疾病予防のための予防接種等、様々な事業を展開した。また受診率を上げるために、無料クーポンの配布、個別受診勧奨、受診日の増設、60歳以上の方への自己負担金の無料化等を行った。ただし、受診率の大きな伸びまでは得られなかった。</p> <p>特定健康診査においては、医療費の適正化を進めるため、未受診者に対する受診勧奨を実施し、病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげることで重症化予防を推進した。また、健診後の取り組みが評価され、テレビに取り上げられたことにより、市民の反響も大きく、参加者の増加に繋げることができた。</p> <p>まちづくり指標については、健康に気をつけている人の割合については、世論調査等で把握していく予定だが、特定健康診査受診率については、平成27年度実績は53.7%となり、平成26年度比較で0.6%の上昇が得られた。また、平成27年度には、新たに集団健診を実施し、受診機会の増加を図った。</p>

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由	前回評価からの修正 あれば
市民ニーズ の状況	メディアでも健康に関連した情報を扱う番組が増えており、健康意識が高まってきていると思われる。一方で、健康に関する情報等への無関心な市民も存在している。	3. 施策の必要性を高める	メディアの影響は大きいことから健康事業への関心が期待できるが、無関心層への働きかけが求められる。	
将来人口 の推移	本市の高齢化率は、平成62年度まで上昇し続ける推計が出された。	3. 施策の必要性を高める	健康診査、がん検診等の各種検診の対象者の増加が見込まれ、健康寿命延伸の観点から必要性を高める。	
他自治体 との比較	がん検診で、特定健診と同時に実施している市や、乳がんと子宮がんをセットで実施している市がある。	3. 施策の必要性を高める	他自治体の取組について、費用対効果や当市での実施の可能性の有無等の状況を把握しながら取り組みを検討する必要性が生じている。	
民間企業・NPO ・市民の動向	医師会、歯科医師会等の団体がある。また、検診を専門に実施している企業もある。	1. 施策遂行に役立つ・有利	会にばかり頼るのではなく、民間企業を活用して新たな事業ができる可能性があるため。	
法・制度改正 の動向	がん対策で、国はがん対策加速化プランを策定し、予防、治療・研究、がんとの共生等、短期集中的に実行すべき具体策を明示している。	1. 施策遂行に役立つ・有利	本市のがん検診受診率が目標数値に届かないため、目標値達成に向けて役立つプランであるため。	
技術革新 の動向				
その他	2020年オリンピックパラリンピック東京大会に向けて東京都を中心にスポーツを振興する動きがある。(都の補助メニューの整備、スポーツをしていない関心層25%への働きかけなど)	1. 施策遂行に役立つ・有利	2020年オリンピックパラリンピック東京大会に向けてスポーツを通じた健康づくりを推進するのに有利である。	

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題	左記課題に関する現在の取組状況
①	がん検診の受診率向上のための施策を検討していくことが必要である。また、胃がん検診において、内視鏡による検診も推奨されてきたことから、導入に当たって検討が必要である。	特定年齢の方を対象に無料クーポン事業を実施してきたが受診率は伸びていない状況である。
②	他自治体の取り組みによる結果等を参考にしながら、重症化予防に対する取り組みの検討を進める。	他自治体へ視察を実施した。また、医師会と事業実施に向けて協議中である。
③	生活習慣病予防の意識付けが必要な若い世代や、健康づくりに関心がうすい人への事業展開や情報発信が課題である。	現在は、健康大学、健康チャレンジ事業、生活習慣改善推進事業、健康増進室などに取り組んでいるが、65歳以上の健康づくりに関心の高い方の参加が多い状況である。